

健康と経済に関するハイレベル会合議長への書簡

2012年5月24日

健康と経済に関するハイレベル会合議長
ロシア連邦厚生大臣
Veronika Skvortsova閣下

拝啓

APECビジネス諮問委員会（ABAC）はアジア太平洋地域経済協力（APEC）の正式な民間諮問グループです。APECに参加する21の国・地域のビジネス界を代表してABACはAPECの目的が最高の形で達成されるために、APEC自身のイニシアティブや他の国際機関との対話を通じて、民間部門の識見を提供することによってAPECの成功を支援する任務を負っています。

ABACは2012年6月27日にサンクトペテルブルグで健康と経済に関するハイレベル会合を開催するというロシアの決定を歓迎します。2011年のAPEC首脳への提言書では、APEC地域での非感染疾患の課題に対応する多部門連携の確立方法の協議を目的に、初のハイレベル・多部門保険システムイノベーション対話を開催したAPEC保険作業部会及びライフサイエンス・イノベーション・フォーラムの先見性をABACは称賛しました。第2回の年次APECハイレベル保険会合をロシアで開催することは、この重要な問題を引き続きAPECの優先課題として扱うことを確実にする大切な一歩となります。

健康は明らかに生活の質を向上させますが、同時に経済成長と発展の決定的要素でもあるのです。APEC参加国・地域で近年達成された成長は、地域の高齢化やライフスタイルの変化が原因の非感染疾患によって脅かされています。世界保健機構（WHO）の試算によると、非感染疾患の10%の増加に伴ってGDPは0.5%低下します。対照的に、健康の増進は明らかに経済的生産性の増大を伴います。例えば、WHOの調査では、1年の平均寿命の伸びは、GDPの4.3%増加と関連していることを示唆しています。APEC地域の持続的な経済成長を推進するには不可欠である健康で生産性の高い労働人口と、堅固な健康管理制度の維持は、官民双方にとって重大な関心事であります。

APEC地域の持続的な経済成長に対する非感染疾患の脅威が拡大していることに対応するため、官民パートナーシップを含む、健康増進に関する官民の協力は不可欠です。公的部門は、高リスク集団における非感染疾患の予防と早期発見を促進するような健康管理制度を総合的に強化するという重要な役割を担っています。多くの民間企業は、従業員の健康と福祉への投資が非感染疾患と闘う手助けとなりうること、そして、生産性の向上、長期欠勤率の低下、障害発生率の低下という観点から、投資に対するリターンが計測可能で顕著であるこ

とがわかっています。公的及び民間部門が健康増進のために協働して努力すれば、疾患の経済的負担を減らし、健康を有益な経済的資産へと変えることができます。ABACは、健康的な地域社会や労働人口を開発する方策についての成功事例の共有と能力構築を推進することをAPEC参加国・地域に要請します。

更に、健康で生産性の高い人々の増加に貢献する民間部門の潜在力は、イノベーションの振興、規制の重荷の減少、透明性・コンプライアンスの重視、汚職の撲滅という政府の措置により、高めることができます。例えば、公的部門は、生命科学の分野でイノベーションを下支えする規制環境を作る際に重要な役割を担っており、民間部門は革新的な新しい製品やサービスの調査や研究・開発で貢献しています。ABACは、民間部門の潜在力が最大限活用されるよう、政府がABACや他の民間の利害関係者との対話を続けることを奨励します。

ABACは、地域の保険課題について、官民が協力して取組む機会に焦点をあてるハイレベル対話の成果を心待ちにしています。健康管理に関する今年の議論でのリーダーシップに感謝するとともに、有意義な会合をもたれるよう期待しております。

敬具

2012年ABAC議長
Ziyavudin Magomedov